

**UPS用 RS-232C 拡張ボード**  
**【GP5-UPC01／GP5-UPC05】**

更新日 2013 年 4 月

**(1) 概要**

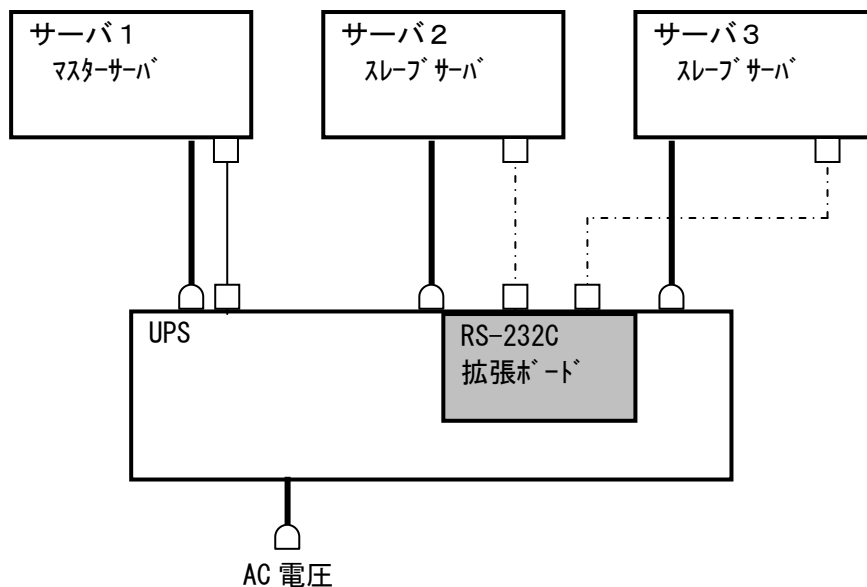
本ボードは、高機能無停電電源装置 (GP5SUP103 を除く全機種共通) の背面パネルにある拡張用スロット部に装着して使用するUPSの RS-232C インタフェースポート拡張用オプションボードです。

**(2) 特長**

高機能無停電電源装置 (GP5SUP103 を除く全機種共通) の背面パネルにある拡張用スロット部に本ボードを装着することにより、本来UPSの背面に標準で1つしかない RS-232C のインタフェースポートを更に2つ追加することができ、1台のUPSで最大3台までのサーバと接続することができます。また、アプリケーションソフト PowerChute plus または PowerChute Business Edition を使用して、合計3台までのサーバを同時に制御することが可能となります。

**留意事項:** 本カードを使用する場合、シャットダウン開始までの時間は2分(固定)となります。

- 3台のサーバを1台のUPSに接続した構成



<凡 例>

- : GP5-UPC01/GP5-UPC05 添付ケーブル
- : RS-232C ケーブル(PowerChute plus/ PowerChute Business Edition 添付品)
- : 電力出力線
- : COMポート

図 1. RS-232C 拡張ボード接続構成図

**(3) 接続対象UPS**

- GP5-UPC01 : GP5SUP104, GP5SUP105, GP5SUP107, GP5SUP108,  
 GP5-R1UP3, GP5-R1UP4, GP5-R1UP5, GP5-R1UP6
- GP5-UPC05 : GP5SUP110, GP5SUP111, GP5SUP112,  
 GP5-R1UP7, GP5-R1UP8

**(4) 基本仕様**

メーカー(APC 社) 型名: AP9607  
 寸法(高さ×幅×奥行): 102 × 102 × 38 mm  
 質量: 136g  
 動作保証温度: +10～+35°C  
 保管温度 : 0～+35°C  
 動作保証湿度: 0～95%、結露なきこと  
 保管湿度 : 同上  
 動作保証標高: 0～ 3,000 m  
 適合する EMC 規格: FCC/DOCクラスB, EN50022, EN50082-1

**(5) 添付品**

RS-232C ケーブル×2本

**(6) 留意事項**

- \*1 適用可能なUPSは、Smart-UPS 500J(GP5SUP103)を除いた全機種であり、最大3台まで接続されたサーバでそれぞれ異なったOSを使用した場合でも別売のアプリケーションソフト PowerChute plus®または PowerChute Business Edition ©により同時管理が可能です。  
 ただし、UPS本体に標準で装備されているRS-232C インターフェイスポートと接続されたサーバのみがスケジュール運転等の制御が可能です。  
 従って、UPS本体に標準で装備されているRS-232C インターフェイスポートと接続したサーバからの制御 (Power ON/OFF やスケジュール運転等) に、本RS-232C 拡張ボードでそのUPSと接続されたサーバが連動して動作します。  
 図1で、サーバ本体1 (マスターサーバと呼ぶ) で設定されたシャットダウンに関する動作に他のサーバ本体2, 3 (スレーブサーバと呼ぶ) が追従して動作し、停電時及びスケジュール運転によるシャットダウン時にはマスターサーバと同様にスレーブサーバ側でも運用中のサービスソフトとOSのシャットダウンが実行されます。ただし、スレーブサーバ側から Power ON/OFF やスケジュール運転を行うように設定することはできません。
- \*2 本RS-232C 拡張ボード(GP5-UPC01/05)とサーバとの接続には、必ず本ボードに添付の専用ケーブルを使用してください。また、本拡張ボード前面パネルにあるディップスイッチの設定は、出荷時のデフォルト状態 ("1 2 3 4" = "0 1 0 0") を変更しないでください。

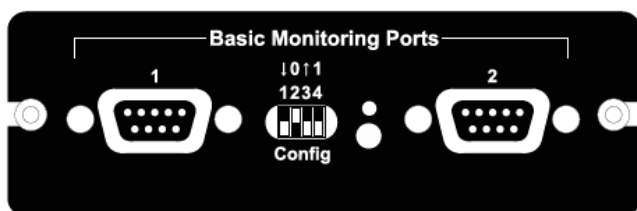


図 2. RS-232C 拡張ボード正面図

ディップスイッチ (デフォルト設定)

1	2	3	4	ディップスイッチ
0	1	0	0	
↓	↑	↓	↓	

ディップスイッチの設定は上図の通りになっていること。

- \*3 本RS-232C 拡張ボード(GP5-UPC01/05)を使用する場合は、マスターサーバとスレーブサーバの全てにアプリケーションソフト PowerChute plus®または PowerChute Business Edition © をインストールする必要があります。  
 また、スレーブサーバにアプリケーションソフトをインストールする際は、必ず通信ポートの自動検出の設定で「いいえ」を選択し、その次に表示されるUPSパラメータのセットアップの画面で「BackUPS」を選択してください。スレーブサーバに既にアプリケーションソフトがインストールされているサーバを適用する場合は、再インストールを行って上記の通信ポートの設定を行う必要があります。

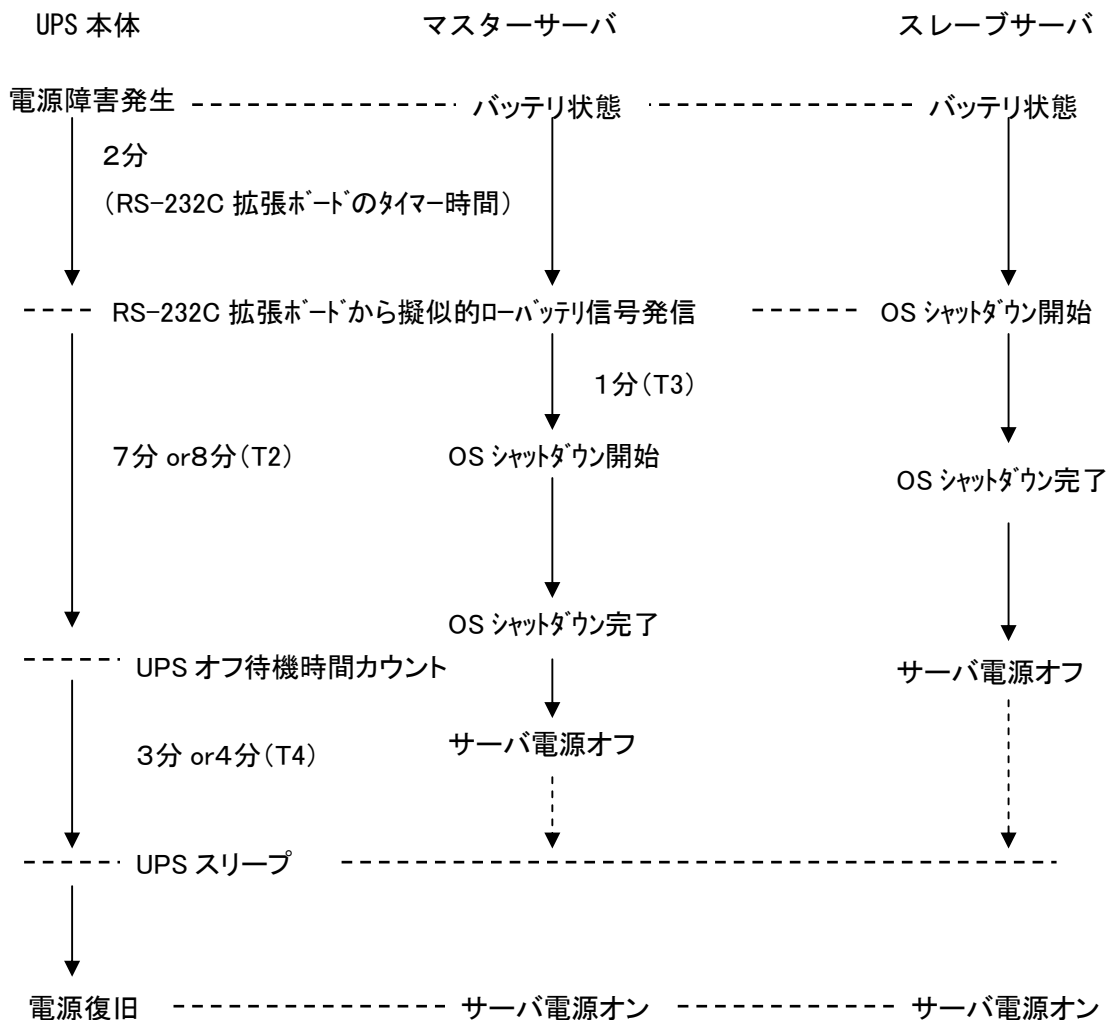
\*4 本 RS-232C 拡張ボード(GP5-UPC01/05)を使用する場合、マスターサーバにはシャットダウン完了までに最も時間の掛かるサーバを適用し、そのマスターサーバのシャットダウンに要する時間とUPSに接続された全てのサーバおよび機器の消費電力の合計とを考慮してバッテリー保持時間内にサーバのシャットダウンができるようにアプリケーションソフトの設定を行ってください。

(計算例) 1台の UPS に GP5-UPC01/05 を使用して以下のような3台のサーバを接続する場合

サーバA: シャットダウン完了時間5分、消費電力300W
サーバB: シャットダウン完了時間4分、消費電力250W
サーバC: シャットダウン完了時間3分、消費電力250W

(1)マスターサーバにはサーバAを適用する。(シャットダウン時間最長の為)

シャットダウンの時間関係



記号	マスターサーバ設定項目	設定例
T2	UPS ローバッテリー信号時間	7分または8分 (デフォルト値)
T3	OS 待機時間	1分
T4	OS 期間	3分または4分 (デフォルト値)

**(7) 規格の取得状況**

安全規格	対象外(接続対象 UPS に搭載した状態で UL1778 を取得)
電気用品安全法	対象外
電波規格	VCCI クラス B
RoHS 指令	対応済み(GP5-UPC01 を除く)
J-MOSS (日本版 RoHS)	対象外
グリーン購入法	対象外

以上